



台湾オガタマ

Michelia compressa var.
formosana Kanehira

モクレン科

気乾比重:0.70

曲げ強度(N/mm²)

最大:107.1

平均: 71.1

最少: 47.5

膨潤率(%)

半径:4.93

接線:7.33

繊維:0.93

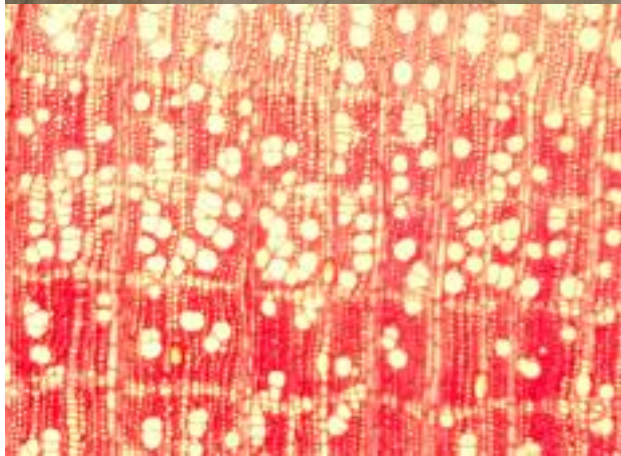
道管配列:散孔材

道管径:70~90 μm

コメント

沖縄の建築材として知られている。方言名はルスンで、イーク(モッコク)、チャーギ(イヌマキ)、ルスンは沖縄の銘木である。

材は緻密で光沢がある、材内部から放つ光沢は魅力的である。





タイワンフウ

Liquidambar formosana

Hance

マンサク科

気乾比重:0.56

曲げ強度(N/mm²)

最大:88.1

平均:61.0

最少:43.8

膨潤率(%)

半径:4.08

接線:9.54

繊維:0.82

道管配列:散孔材

道管径:60~70 μm

コメント

使用事例はほとんどない。

木肌は緻密である。





タブノキ

Perssea thunbergii Kosterm.

クスノキ科

気乾比重:0.61

曲げ強度(N/mm²)

最大:69.5

平均:50.2

最少:33.3

膨潤率(%)

半径:4.46

接線:7.71

繊維:0.52

道管配列:散孔材

道管径:70~180 μ m

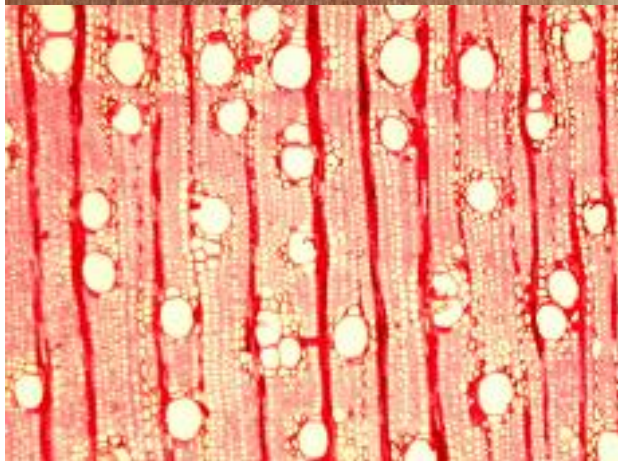
コメント

材色、木目はクスノキとそっくり

樟脳の香りがしないのがタブノキ

樹皮は沖縄線香の原料になる

椅子テーブルに活用されている



デイゴ

Erythrina orientalis L.

マメ科

気乾比重:0.18

曲げ強度(N/mm²)

最大:24.7

平均:21.8

最少:18.8

膨潤率(%)

半径:1.65

接線:4.43

繊維:1.08

道管配列:散孔材

道管径:120~500 μ m

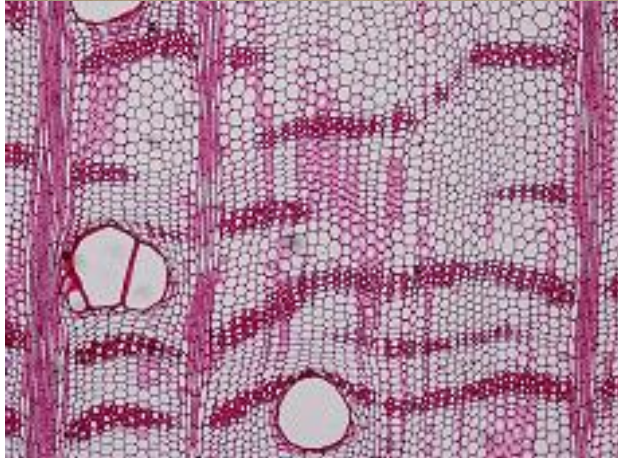
コメント

びっくりするほど軽い

日本で最も軽いクラスの材である。

デイゴの漆器は軽くて変形しないのが特徴である。

ボツェリした朱色の琉球漆器の皿(Gマーク商品)は人気商品である。





テリハボク

Calophyllum inophyllum L.

オトギリソウ科

気乾比重:0.71

曲げ強度(N/mm²)

最大:60.7

平均:51.9

最少:42.4

膨潤率(%)

半径:4.77

接線:7.78

繊維:0.72

道管配列:散孔材

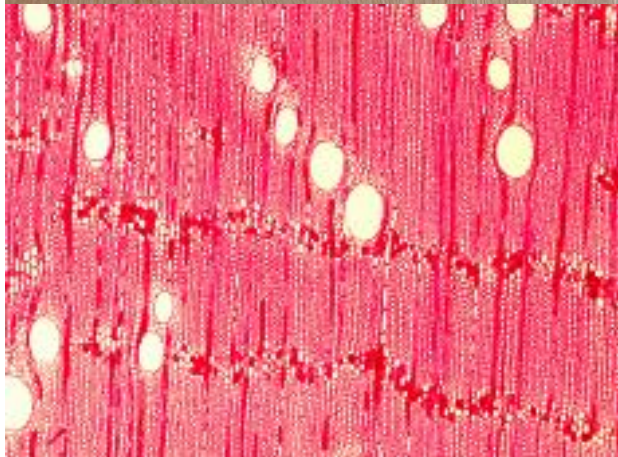
道管径:70~180 μ m


コメント

方言名はヤラブでよく知られている。

八重山地方では高級家具材として活用されている。

割れにくい材であるのでブクブク茶の茶をたてる椀にも用いられる。





ナギ

Podocarpus nagi Zoll. Et
Moritzi

マキ科

気乾比重:0.57

曲げ強度(N/mm²)

最大:81.2

平均:67.0

最少:51.8

膨潤率(%)

半径:4.41

接線:7.71

繊維:1.17

針葉樹

仮道管径:22 μ m

コメント

活用事例はほとんどない。

上品な木目できめの細かい
きれいな木肌である。





ナンキンハゼ

Sapium sebiferum Roxb.

トウダイクサ科

気乾比重:0.35

曲げ強度(N/mm²)

最大:32.6

平均:25.4

最少:17.3

膨潤率(%)

半径:1.97

接線:4.15

繊維:1.59

道管配列:散孔材

道管径:60~220 μ m

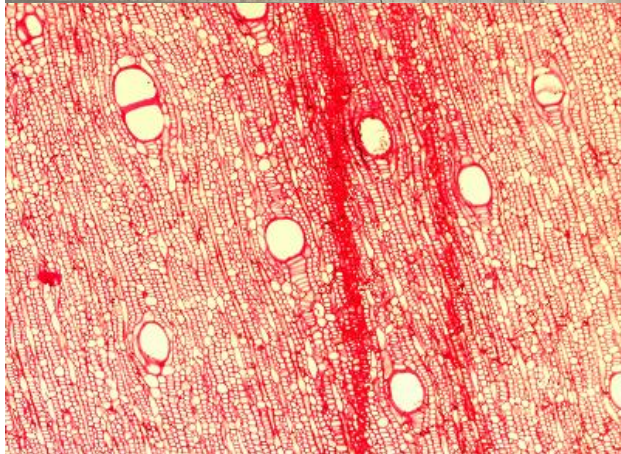
コメント

材肌は緻密。

軽い。

屋外に放置すると腐朽しやすい。

使用例はほとんどない。





ニツケイ

Cinnamomum sieboldii
Meissn.

クスノキ科

気乾比重:0.48

曲げ強度 (N/mm²)

最大:118.9

平均:109.7

最少: 90.1

膨潤率(%)

半径:3.81

接線:7.99

繊維:0.60

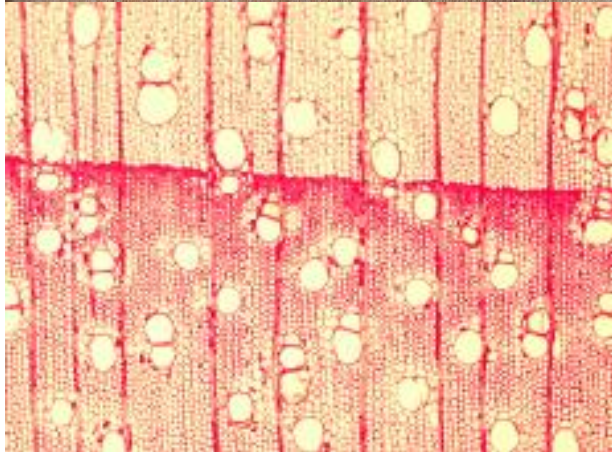
道管配列:散孔材

道管径:40~150 μ m

コメント

シナモンの近縁種。

材の活用事例はすくない。
クスノキやタブノキに似た木
肌をしている。



ハスノハギリ

Hernandia nymphaeaefolia
Kubitzki

ハスノハギリ科

気乾比重:0.30

曲げ強度(N/mm²)

最大:33.5

平均:29.5

最少:23.9

膨潤率(%)

半径:2.97

接線:5.97

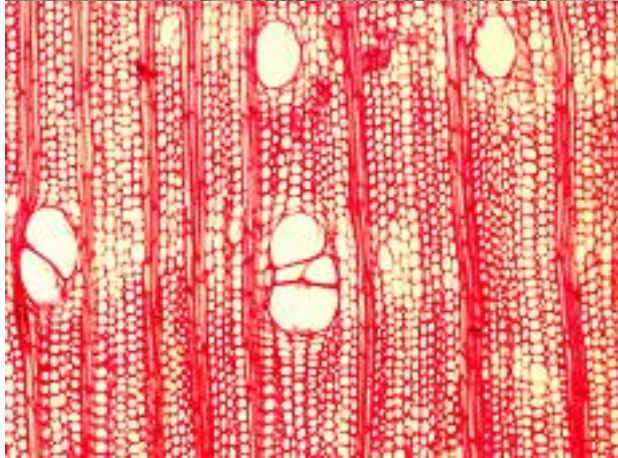
繊維:0.94

道管配列:散孔材

道管径:110~420 μm

コメント

アンガマの面の材料。
軽くデイゴよりは丈夫。
疑似餌などにも使われる。



ハゼノキ

Rhus succedanea L.

ウルシ科

気乾比重:0.73

曲げ強度(N/mm²)

最大:143.2

平均:109.4

最少:72.4

膨潤率(%)

半径:7.34

接線:8.74

繊維:1.04

道管配列:環孔材

道管径:90~260 μ m

コメント

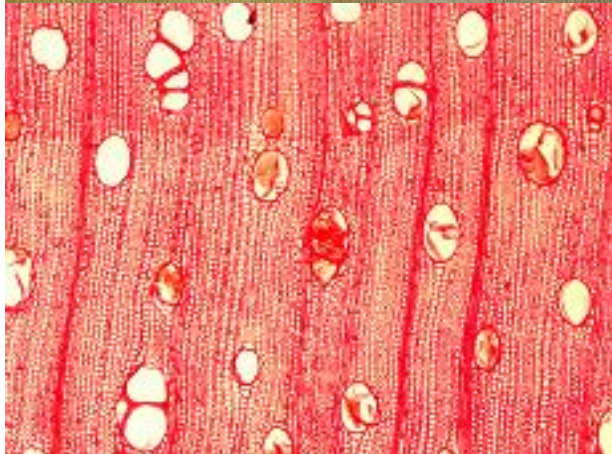
心材が黄色。

辺材は白っぽい。

辺材はヒラタキクイムシが食害する。

心材の黄色は魅力的である。

乾燥材は細胞壁がつぶれ表面は波打つ。



ハマセンダン

Evodia meliaefolia Benth

ミカン科

気乾比重:0.42

曲げ強度(N/mm²)

最大:72.0

平均:67.4

最少:60.7

膨潤率(%)

半径:3.90

接線:8.60

繊維:1.12

道管配列:環孔材

道管径:90~330 μ m

コメント

切削加工はしやすい。

方言名はヤマグルチ。

重箱などの指物木地に用いられる。

材径も大きいのがある。

家具や小木工などに適材である。



ハンノキ

Alnus japonica Steud

カバノキ科

気乾比重:0.51

曲げ強度(N/mm²)

最大:106.7

平均: 97.6

最少: 86.7

膨潤率(%)

半径:4.18

接線:7.51

繊維:0.65

道管配列:散孔材

道管径:40~150 μ m

コメント

切削加工はしやすい。
材全般に均質で扱いやすい。
木目はオキナワウラジロガシ
に似ている。

道管配列は放射配列にも近
い。

小木工材に適する。



ヒラミレモン

Citrus depressa Hayata

ミカン科

気乾比重:0.76

曲げ強度(N/mm²)

90.9

膨潤率(%)

半径:4.85

接線:1043

繊維:1.80

道管配列:散孔材

道管径:40~150 μ m

コメント

黄みの白い材色で木目は細かい。

挽物でコップなどが作られている。

方言名のシークワサーはよく知られている。





ビロウ

Livistona chinensis R. Br.

Var. subglobosa Becc.

ヤシ科

気乾比重:0.41

曲げ強度(N/mm²)

最大:54.4

平均:36.9

最少:21.0

膨潤率(%)

半径:5.04

接線:4.47

繊維:0.89

道管配列:散孔材に見える。

年輪はない。

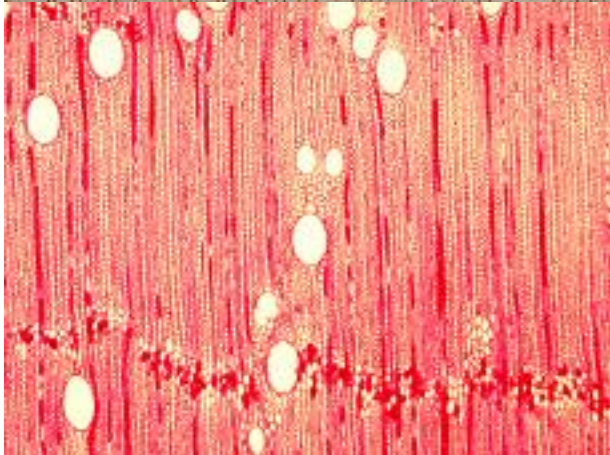
道管径:50~170 μ m

コメント

樹齢の古い幹は樹皮側が堅固になっているので、六尺棒やマンチャク material となる。

綾状の黒い斑点が美しい木理となる。

食器などに活用するのもよい。方言名は「クバ」といい葉で扇が作られる。



フクギ

Garcinia subelliptica Merr.

オトギリソウ科

気乾比重:0.77

曲げ強度 (N/mm²)

最大:116.9

平均: 91.2

最少: 52.1

膨潤率(%)

半径:4.08

接線:13.36

繊維:0.36

道管配列:散孔材

道管径:7~130 μ m

コメント

材色は黄みのクリーム色

漢字で福木と書く。

夫婦箸など縁起物に活用で
きる。

比重が大きいので三線竿も
可能。

割れやすい、青変菌が入りや
すい、キクイムシも入る。

水中貯木で保管するのがよ
い。

樹皮は染色に用いられる。

ホウオウボク

Delonix regia Raf.

マメ科

気乾比重:0.44

曲げ強度 (N/mm²)

最大:63.8

平均:59.5

最少:43.1

膨潤率(%)

半径:2.13

接線:5.53

繊維:2.28

道管配列:散孔材

道管径:201~253 μ m

コメント

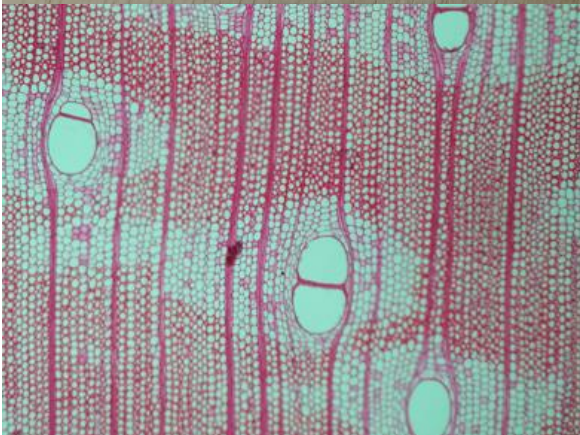
街路樹や公園木として植栽されている。

赤いあでやかな花が咲く、世界3大花木のひとつ。

活用事例は少ない。

比重は軽い。

ブルーステインが入るので水中貯木してからの活用が望ましい。



ホルトノキ

Elaeocarpus decipiens

Hemsl.

ホルトノキ科

気乾比重:0.51

曲げ強度(N/mm²)

最大:93.5

平均:77.1

最少:65.6

膨潤率(%)

半径:2.98

接線:10.23

繊維:0.93

道管配列:散孔材

道管径:30~150 μm

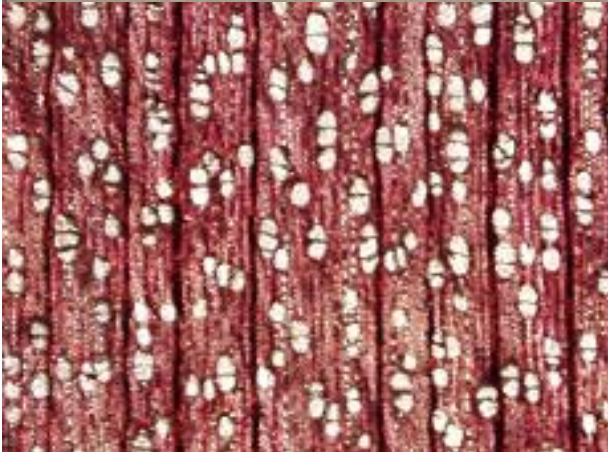
コメント

白茶の材色で緻密な木肌で
杻が出る。

大木もあるので、家具などにも
活用できる。

方言名は「ターウルサー」
」である。

果実がオリーブの実に似て
いることからオリーブを表して
いた「ポルトガルの木」が名
の由来⁴⁾。



マルバチシャノキ

Ehretia dicksonii Hance

ムラサキ科

気乾比重:0.74

曲げ強度(N/mm²)

最大:80.9

平均:62.4

最少:45.2

膨潤率(%)

半径:4.52

接線:5.10

繊維:0.70

道管配列:環孔材

道管径:80~260 μ m

コメント

辺材(淡色)、心(濃色)が明瞭である。

重厚で高級感のある材である
文具、テーブルウェア、茶
道具や仏具に活用できる。
方言名は「ケーズ」と呼ばれる。

モクマオウ

Casuarina equisetifolia J. R.
et G. Forst.

モクマオウ科

気乾比重:1.06

曲げ強度 (N/mm²)

最大:240.9

平均:221.2

最少:209.9

膨潤率(%)

半径:10.43

接線:17.63

繊維:0.41

道管配列:散孔材

道管径:50~140 μ m

コメント

割れ、変形やひねりの大きい材。

比重が大きく、強度も強い。

三線の竿に活用している。

木炭材としても用いられている。

材は硬いので三線の爪にもよいのではと思う。

モッコク

Ternstroemia japonica
Thunb.

ツバキ科

気乾比重:0.76

曲げ強度 (N/mm²)

最大:133.8

平均:102.6

最少:86.7

膨潤率(%)

半径:5.68

接線:10.77

繊維:0.55

道管配列:散孔材

道管径:60~70 μ m

コメント

かやぶき屋根の垂木などの骨組みに用いた。

材径は大きくない。

方言名は「イーク」で建築材で知られている。

杖、ボールペン、かんざしやマドラーに向くと思う。

モモタマナ

Terminalis catappa L.

シクンシ科

気乾比重:0.82

曲げ強度(N/mm²)

最大:121.8

平均:105.7

最少:87.0

膨潤率(%)

半径:5.66

接線:7.60

繊維:0.24

道管配列:散孔材

道管径:70~240 μ m

コメント

方言名「クワアディーサー」

はよく知られている。

樹高2m近辺で枝が横に広

がり日陰を作るので海辺や

公園に植栽されている。

街路樹もよく見かける。

シーミー(お墓の行事)の時

の日陰をつくるためにお墓

に植えることもある。

材色は黄褐色、年輪は明瞭

木肌はやや粗い。

活用事例は少ない。



モルツカネム

Parasenanthus falcata

マメ科

気乾比重:0.33

曲げ強度(N/mm²)

最大:38.2

平均:23.1

最少:6.1

膨潤率(%)

半径:2.29

接線:6.67

繊維:0.96

道管配列:散孔材

道管径:130~250 μm

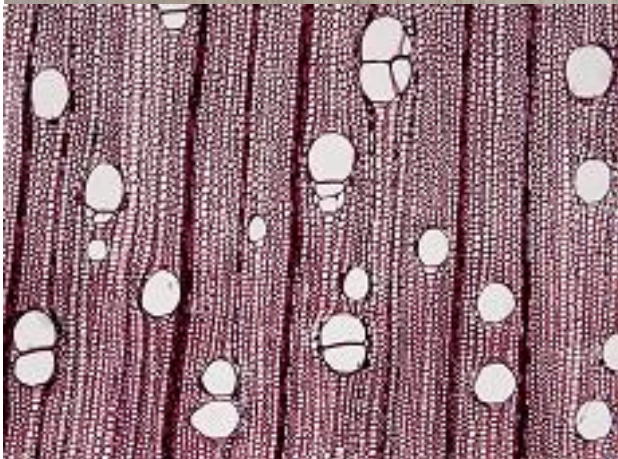
コメント

2006年ごろ試験的に植栽されたが台風に弱いことから現在はほとんど植栽されていない。

通直に伸びる樹種で歩留は良い。

デイゴに近い軽さで良好な樹種である。

材色はかすかに茶みを帯びた白。



ヤエヤマシタン

Pterocarpus indicus Willd.

マメ科

気乾比重:0.65

曲げ強度(N/mm²)

最大:108.8

平均:70.3

最少:24.4

膨潤率(%)

半径:4.64

接線:5.91

繊維:0.71

道管配列:散孔材

道管径:90~240 μm

コメント

貴重木

材積は少ない。

材色は黄茶の高級感がある。

シタン、コクタン、タガヤサン

などの唐木と呼ばれる高級

材である。

比重は大きくない。

茶道具などに活用できる。





ヤナギバモクセイ

O.okinawensis Hatusima

モクセイ科

気乾比重:0.94

曲げ強度(N/mm²)

最大:142.9

平均:126.6

最少:111.0

膨潤率(%)

半径:7.49

接線:10.15

繊維:0.41

道管配列:紋様配列

道管径:30~50 μm

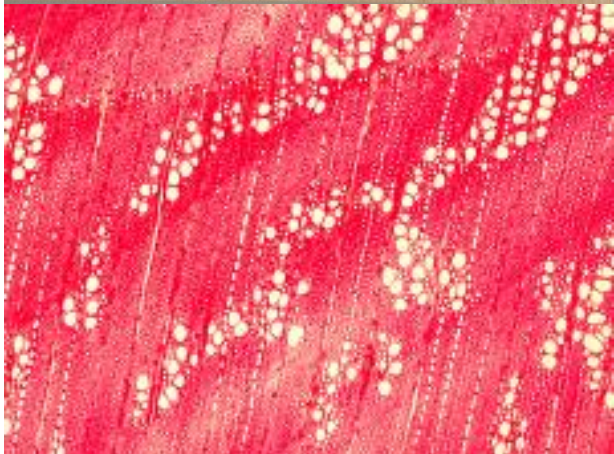
コメント

白っぽいきめの細かい木肌。

比重や強度が大きいことから三線竿も可能と思う。

年輪は明瞭で木目もしっかりしている。

盆栽に適する。



ヤマモモ

Myrica rubra S. et Z.

ヤマモモ科

気乾比重:0.71

曲げ強度(N/mm²)

最大:79.2

平均:63.8

最少:54.6

膨潤率(%)

半径:6.05

接線:10.46

繊維:0.46

道管配列:散孔材

道管径:60~80 μ m

コメント

紫がかつた黒茶褐色。

木肌は細かい。

木目と年輪は不明瞭。

外観はイスノキと極似。

曲げ強度がイスノキに比べて

弱い。

寄木に活用できる。

リュウキュウコクタン

Diospyros ferrea Bakh.

カキノキ科

気乾比重:0.93

曲げ強度(N/mm²)

最大:149.8

平均:123.7

最少:88.1

膨潤率(%)

半径:7.49

接線:12.06

繊維:0.72

道管配列:散孔材

道管径:60~120 μm

コメント

辺材は黄土色、心材は赤茶黒。

方言名は「クルチ」。

樹齢100年ほどの木から心材形成された部位を用いて三線の竿が作られる。

最も高価で最も好まれる三線となる。

リュウキュウマツ

Pinus luchuensis Mayr

マツ科

気乾比重:0.74

曲げ強度(N/mm²)

最大:132.0

平均:113.9

最少:92.6

膨潤率(%)

半径:6.89

接線:8.41

繊維:0.60

針葉樹

仮道管径:20~41 μ m

樹脂道径:140 μ m

コメント

沖縄県の県木、琉球列島固有の種である。

早材晩材年輪のラインが美しい木目である。

青変菌侵入、シロアリやキクイムシの食害、ヤニ分の噴出、ヘアークラックの発生などの欠点がある。

資源量は多く需要も多い。樹脂道の影響は大きいと思われる。